

長勝寺報

卷頭言

人工知能、AIというキーワードをよく耳にするようになりました。スマートフォンの検索でも一番上にAIが生成した検索結果が表示されるようになり、気が付かないだけで、日常の至る所、知らぬ間に人工知能が溶け込んでいます。信じられない話ですが、これらが人間の知能を超えるのは時間の問題なのだそうです。

約千年前、唐の国に瑞巖和尚^{すいがんじやうしやう}という方がおられました。「自分に向けて、おい、自分」と呼びかけ、ハイと返事をし、目を覚ましているかと呼びかけ、ハイと返事をし、瞞^{だま}されると呼びかけ、ハイと返事をする」

最初から最後まで独り言。何ともへんてこな話ですね。

私たちは、少なからず、他の影響を受けて生活しています。例えば料理一つ取っても、テレビやネット、本でレシピ調べます。それから得た情報や、人から聞いた話が真実か

第17号
令和8(2026)年
新春
長勝寺
ホームページ


発行所
〒八七〇一〇一四二
大分市三川下二丁目六番二十三号
TEL〇九七一五五八一四二八七
臨済宗妙心寺派
E-mail tyouyogi.oit@gmail.com

年間行事予定

◎1月13日(火) 9時~12時
成道会(じょうどうえ)
釈尊が悟りを開いた事に因んだ行事

◎1月15日(木)
懺法会(せんぱうえ)
観音さまに懺悔と安泰を祈願

◎1月17日(土)
初観音講

◎2月11日(祝日)
新福寺大般若※祈願申込書を配布

◎2月15日(日)
涅槃会(ねはんえ)

◎3月14日(土)
お釈迦さまの命日、大涅槃図展覧
春季巡教(しゅんきじゅんきょう)
本山巡教師ご法話、涅槃堂總供養

◎春分の日(3月20日)
お接待 どなたでも参加できます
三川各地、お寺は観音堂にて開催
☆お菓子のお接待

◎5月5日(祝日)
降誕会(こうたんえ)釈尊の誕生日
(☆山門にて甘茶接待)

◎8月1日~4日
お盆のお参り

◎8月16日(日)
山門大施餓鬼(さんもんたいせがき)

◎12月31日(大晦日) 23時半
除夜の鐘

◎毎月17日
観音講
○御講當番
木ノ下

◎お寺で婚活 吉縁会
参加には登録が必要です。詳しくは
吉縁会ホームページをご覧ください

◎お寺で婚活 吉縁会
未筆となりましたが、佐賀関大火に
罹災されました方々に、謹んでお見舞
い申し上げます。夏に出向いた折、市内
中心部と10度くらい気温差があり、
海辺の涼しさと穏やかな港の風景に、
しばし酷暑を忘れさせてくれた事を思
い出します。よもや、このような惨事に
なるとは。今尚、苦しい思いを抱いてお
られる方々の心が少しでも癒え、やす
らぎに到ることを祈念しております。

修理箇所報告

本堂正面から裏を修繕。観音堂
扁額を復刻。本堂小磬を新調。本堂
戸帳は縫製中。

祝 米寿

数えて米寿(満87歳)をお迎え
の方はお寺までお知らせください。
大本山妙心寺管長猊下よりご祝辞
と記念品がござります。

本堂内陣から裏手を修繕しました

本尊様をお祀りする内陣は、シロアリや地震に見舞われたためか、だんだん北側に傾いていました。この傾きを良くする修繕を試みたのですが、なんと、この部分は土台から支えていたのではなく、上の梁から吊り下げられていたという思いもよらない構造が発覚しました。吊り下げた梁を支える西の壁が弱って下に沈下すると、壁以外に支える柱を持たない内陣の壁も一緒に下がつて傾いたという事でした。基礎工事が未発達な大昔の家屋にはよくある構造なのだそうです。



旧観音堂には扁額が掲げられていました。60年前までは掲げられていたようですが、区画整理後、老朽化のため取り外されました。観音五觀の第一「真觀」と書かれています。作者は臼杵多福寺七世、西江禪師（一七〇〇年代）です。六ヶ迫鉱泉を発見したことでも知られています。旧観音堂が完成したのが一七三七年ですから、完成当初から存在していたと思われます。復刻に際しては、原本の筆跡を忠実に残すことを目指しましたが、どうしてもわからぬ欠損部分は他の墨蹟を参考に補完しました。通常、設置には金属製の受け金具を使います。今回は、意匠に優れ、より強固な固定が可能となる、木材を用いた固定法を採用しています。

観音堂 西江禪師揮毫の扁額を復刻



けんちん汁の話

けんちん汁は修行道場では滅多に作れません。普段の料理には、豆腐のようにお店で買ったものは使えない決まりだからです。漢字では建長汁と書きます。鎌倉の建長寺で、ある僧があやまつて豆腐を落としてしまいました。それを見た開山さまが、崩れた豆腐を集め綺麗に洗い、作りかけの汁の中に入れたのが始まりとされています。落とした事を咎めるではなく、何でも活かして使うところに禅機があらわれています。ところで、けんちん汁の作り方を検索してみると、本来のあり方からかけ離れたレシピが散見されます。こうすることで野菜の旨味を引き出します。米とぎ汁で煮た後、崩した木綿豆腐を入れます。豆腐を入れた後は沸騰させないように気を付け、薄口醤油で味を決めて出来上がりです。仕上げに葉物野菜を散らすこともあります。

シリーズ 長勝寺の至宝

玄関横石幢(せきどう)



風化が進み、何が彫られていたのか、碑文の有無を含め詳細はまったく不明です。おそらく、六地蔵石幢ではないかと思われます。近世に多い反りではなく、古い時代の特徴である、むくつた笠の形状からも、かなり古い年代の作という事だけは分かります。石質は県産の凝灰岩でしょうから、お寺が現在地に移された際に、この石幢も移されたとの言い伝えがあり、それもうなづける古さです。